

タイガーダム

水のう型簡易治水システム
米国特許番号 10,378,168 / 11,384,497

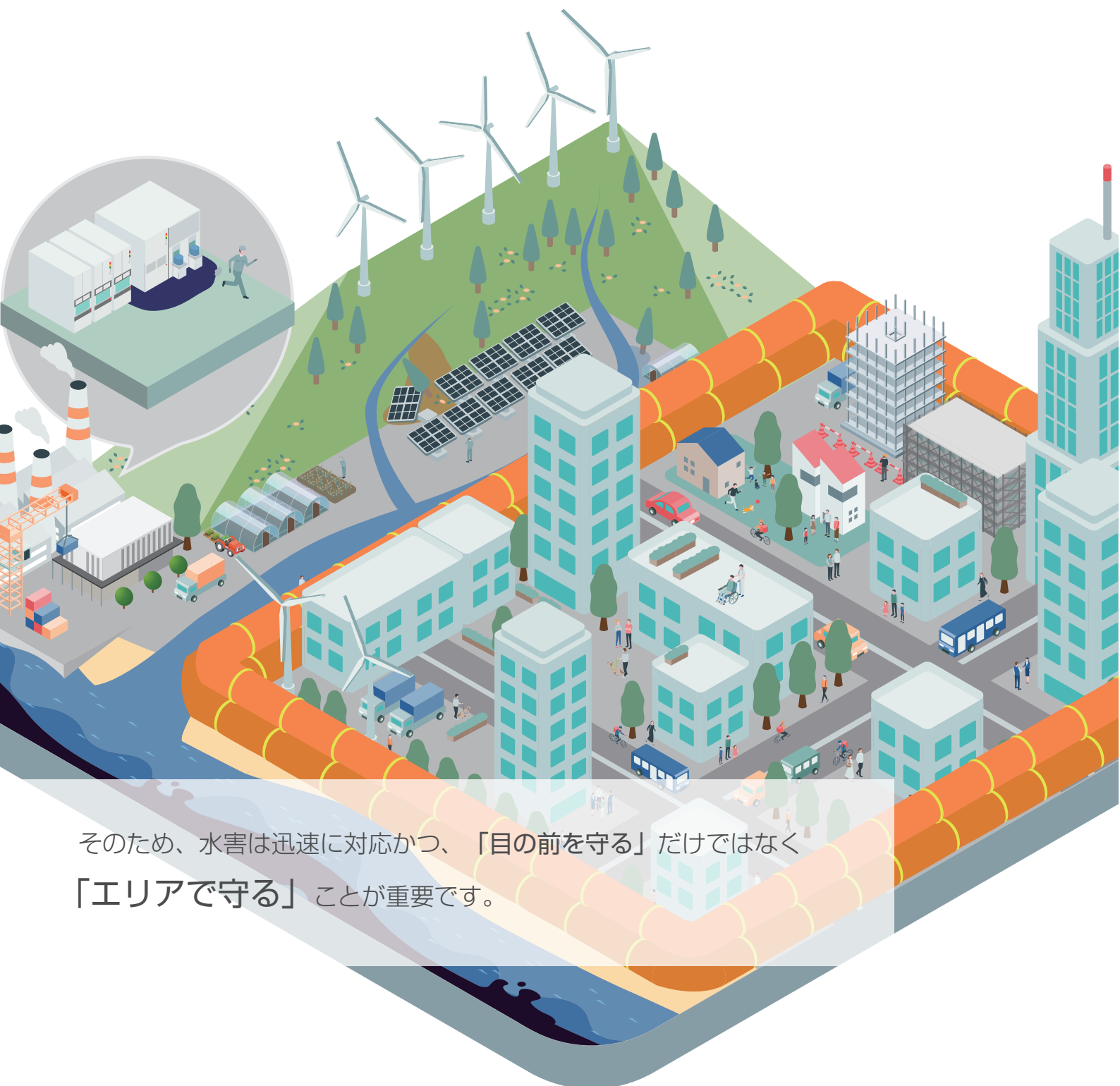


水害はゼロにできない。

近年、地球温暖化に伴う異常気象や地震による災害が激甚化しています。

海や河川の増水による、道路や発電施設などインフラへの浸水
水道管の破裂等による、家屋、地下など、建物への浸水
停電による機械制御、安全装置の停止による、オイル、薬品の流出

従来の土のうによる対策では、施工時間も人員も足りず、地区全体での長期断水、停電、移動制限をもたらす危険があります。



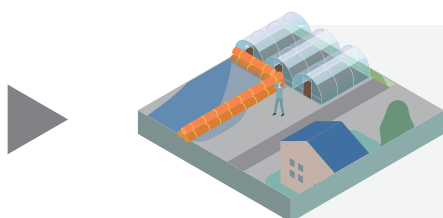
そのため、水害は迅速に対応かつ、「目の前を守る」だけでなく
「エリアで守る」ことが重要です。

だから“どう管理するか”が重要

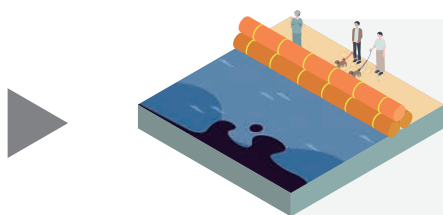
タイガーダムは、想定外の水の流れに対応するための防災資機材

従来の「防ぐだけの治水」から発展した、予防・対応・復旧を含む総合的な「水害マネジメント」

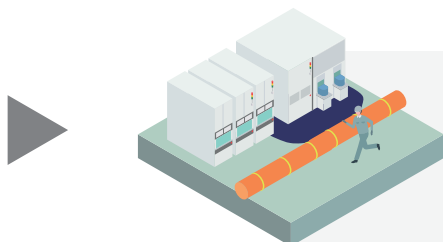
水を止めるのではなく、水量・流れ・時間・影響範囲をコントロールし社会・インフラ・人命への被害を抑える



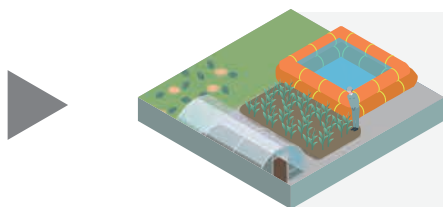
河川の氾濫や越水、下水設備が処理能力を超えるといった内水、外水氾濫の被害を「抑える」



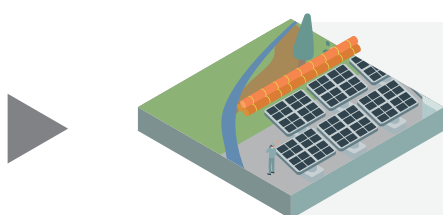
石油流出事故の際に海岸線に沿って設置する事により、オイルバリケードで陸地への影響を「抑える」



石油や化学製品の流出などの不測の事態が発生した際、危険物を緊急収容する容器として「貯める」
周囲への環境被害を「抑える」



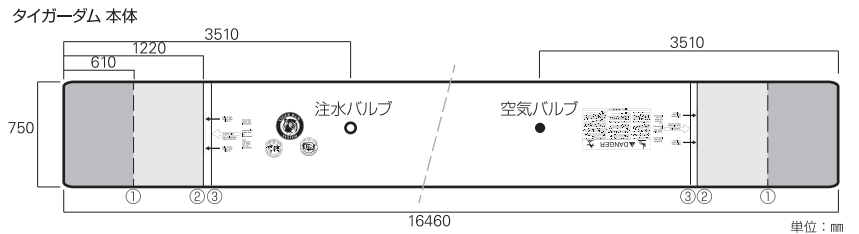
干ばつや急な断水に対し、生活用水や農業用水を「貯める」



発電所や変電所などといった、インフラ設備や建物への大規模な浸水を「抑える」
土砂や水の勢いを「逃がす」

製品仕様

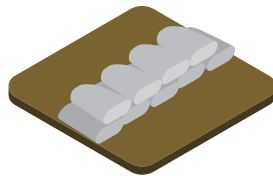
タイガーダム（水のう型簡易治水システム）



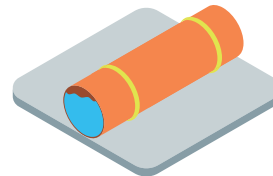
仕様	乾燥時	注水時
全長	16.46m	15.00m
幅と高さ	幅0.75m	幅0.55m×高さ0.48m
重量	27.2kg	2,727kg
構造素材	ポリエステル加工膜チューブ 給排水バルブ構造	

土のう（砂袋）との比較

土のう（砂袋）



タイガーダム



単品性能での比較

耐久性 約3ヵ月～1年

環境配慮 使い捨て

最大10年
(最大UV定格)

繰り返し使用可能

両設置方法ともに、2人で作業時、設置高さ約50cm・幅15mで比較

必要数量 約300個

作成 / 注水時間 約3時間

設置時間 約7時間

合計時間 約10時間

1本

約5分

約5分

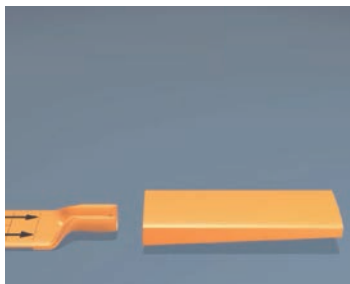
約10分

■ 設置方法

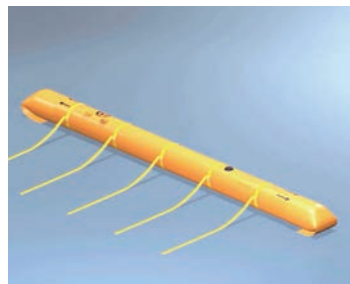
1本使用時の設置方法



① 使用位置にタイガーダムを広げる



② 端部を折り込み、スリーブを取り付ける

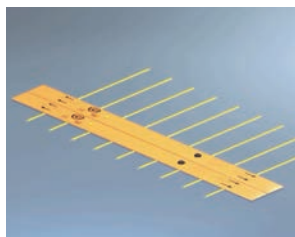


③ 端部を折り込み注水し、設置完了

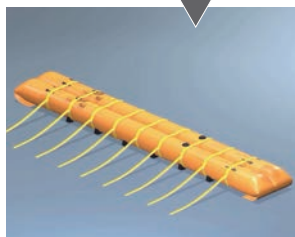
タイガーダム1本設置 手順動画



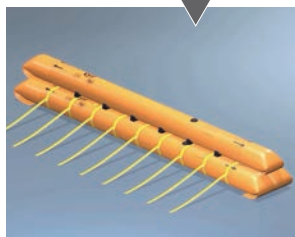
段積み時の設置方法



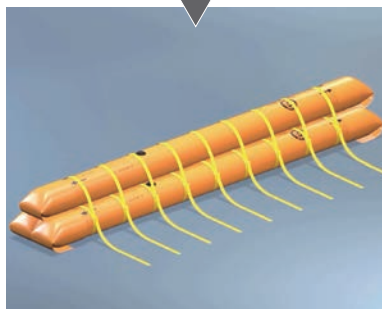
① 使用位置にタイガーダムを
2本設置し、端部処理を行う



② 広げたタイガーダムに注水し
固定ベルトで固定する（1段目）



③ 1段目の上に、もう1本広げ
注水する

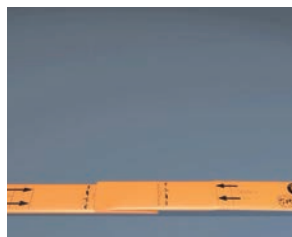


④ 1段目で使用した固定
ベルトで2段目のタイガー
ダムを固定し、設置完了

タイガーダム2段積み 手順動画



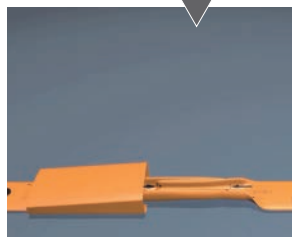
連結時の設置方法



① タイガーダム2本のうち、片
側にスリーブを通し、折り返し
ラインまで重ねる



② 2本同時に端部を折り込む



③ 事前に通していたスリーブ
を折り込み箇所には被せる



④ 注水し、設置完了

タイガーダム連結 手順動画





株式会社タカミヤ

大阪本社 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB27階 〒530-0011 T 06.6375 8813

東京本社 東京都中央区日本橋3-10-5 オンワードパークビルディング12階 〒103-0027 T 03.3276 3903



www.takamiya.co

製品は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。